

【活動報告/資料】

EDUCAUSE参加報告

情報基盤センター

1. 年次大会の概要

開催日 : 2012年11月6日(火)～9日(金)

会場 : コロラド州デンバー

参加者 : 約5,000名(約43ヶ国)、うちCIO及びシニアITリーダーの参加登録者1,583名

内容 : セッション 約400セッション

ポスタープレゼンテーション 58セッション

Public Webcasts 15セッション

Session Podcast 1,139セッション

企業展示 291ブース



Blue Bearと一緒に

2. 神戸大学からの参加者

樫村 志郎 (情報基盤センター長・教授)

鳩野 逸生 (情報基盤副センター長・教授)

熊本 悦子 (情報基盤センター・教授)

有働 雄二 (情報基盤センター・事務長補佐)

3. 大会参加報告

参加者 : 樫村 志郎

(Pick up)

*セッション・タイトル等:

“A 10-Second Response: Integrating Your Campus Emergency Communications System” (Brian Horne, Associate Telecom & Network Engineer, Bowdoin College & Rebecca Sandlin, CIO Roanoke College): Thursday Nov 8th, 2012 9:10 AM - 10:00 AM.

*概観:

In this session the general organizations and prospects of emergency notification system of Bowdoin College (Maine) & Roanoke College (Virginia) were discussed. Mainly due to the difficulty of obtaining enough budget, these colleges introduced a full cloud solutions with no need of new equipments or maintenance costs - with a Fixed per-student fee for unlimited use (also, no long distance charges).

*Bowdoin College:

- VoIP Phone System: Cisco Call Manager (2007/8-)

- E911 Compliance (NG 911): Cisco Emergency Responder
- Multicast Announcement System: Cistera Convergence Server (Rapid Broadcast) (2011 -)
- Phone & Radio Recording System: Cistera Convergence Server (QAM & LMR Record) (2010 -)
- Outreach System: Blackboard Connect(2006-), + Texting service(2009-)
- Emergency Website: Locally hosted with remote back-up to outside service

*Roanoke College:

- VoIP Phone System: Cisco Call Manager (2007-)
- E911 Compliance (NG 911): Verizon
- Multicast Announcement System: Informacast
- Phone & Radio Recording System: (Planning Phases)
- Outreach System: E2Campus
- Emergency Website: Locally hosted with remote back-up to outside service



Diana G Oblinger
President and CEO EDUCAUSE

*Prospects:

- Digital signage
- Public address systems
- Texting to phones
- Text scrolling to computer monitors
- Text scrolling on TV channels
- Social media
- ONE STOP WEBPAGE: an integrated dashboard for incident commander to send messages to all systems at once.



General Session

*The PPT for this session is available at:

<http://www.educause.edu/annual-conference/2012/10-second-response-integrating-your-campus-emergency-communications-system>

(全体を通じての感想)

以上に紹介したのは、2012年10月にアメリカ東海岸に大被害をもたらしたハリケーン・サンディの記憶も新しいなかで行われた災害対応のためのICT利用に関する報告です。テクニカルに先進的なシステムではなさそうですが、市販製品を使いながら限られた予算と人員で最善の体制を作ろうとする姿勢に学ぶところがありました。このほか、ICT利用状況についての調査、教育利用（Cousera, Learning Commons）、法務（個人情報法制についてのアップデート情報、法律家とCIOその他の大学管理者のコミュニケーション）など、情報、実践報告とも大変盛り沢山の会合で、おおいに啓発されました。

参加者：鳩野 逸生

(Pick up)

IMS GLOBAL の紹介

IMS GLOBAL Learning Consortium (Advancing Learning Impact by Enabling the Open Foundation for Seamless, Agile and Information-Rich Educational Technology Integration) は、現在種々開発されている CMS/LMS などの教育用情報システムの互換性を保証し、様々な場面での教育をシームレス



Exhibit Hall

につないで教育の効果を上げようとするもので、互換性のための様々な標準やコンフォーマンステストによる標準への認定を行っている。日本からは放送大学が参加しているが、今後の教育における ICT を考える上で注視していく必要があると思われる。

Waiting for the Clouds

現在の教育機関における情報システムのクラウドへの移行状況が紹介されている。

LMS はだんだんとクラウドへ移行しつつあるが、業務用の ERP、研究用の HPC は移行しつつあるものの LMS に比べると移行率は低い現状などが紹介された。

InCommon: Net+: Building Corporate Partnerships to Revolutionize

高等教育機関における共通的なサービスを集約して提供する組織の紹介。様々な商用を含むサービスを集約して提供するために、認証連携 (Single Sign on、日本でいう学認)、クラウドサービスなどを提供している。サービスの提供に当たっては、ベンダーがビジネスとして参加する道も開けていることも可能なことが特徴である。

11/07

• Core Data service 2012 Results

2012 年度の Core Data Service の概要:

• 新しい質問項目になってから初めてのデータ。概要は以下の PDF.

<http://www.educause.edu/sites/default/files/library/presentations/E12/SESS004/E12%2BCDS%2Bpresentation.pdf>

• CIO position relate to funding: (CIO に割り当てられた予算) 5-10 年の任期で、660 万ドル。任期が長い CIO においては予算が減少。理由は不明。

• DR コースがある公立大学においては、2,381 万ドルが平均。

• 89%の大学は、少なくとも2つくらいの IT 機能をアウトソースしている。アウトソース対象の典型的サービスは、学生用 E-mail、LMS/CMS、職員用 Email、図書館管理システム、Printing Service

• 52%の大学は、少なくとも一つのサービスについて SLA を決めている。

(多くは、Help Desk/Desktop Computing/Network Infrastructure & Services/Data Center/Telephony)

- ・サポートサービスの予算の95%は通常予算から支出。
- ・Classroom Technologies(Wired/Wireless Internet Connection, Video projectors, Computers for instructor) は85%以上の機関で設置されている。
- ・一方で、Classroom Technologies(Clickers, Video Cameras, Video Conferencing, Lecture Capture)の設置は3%以下。

11/08

- ・Officer, Is The Your GPS Device on My Car? Privacy and Security Legal Update, 2012
- ・ICTによって取得されるデータと法律(人権)に関するサーベイ。
- ・米国における法律におけるの考察。
- ・微妙な点がたくさんあり十分な考察が必要。

参加者：熊本 悦子

(Pick up)

1. Disaster Recovery Planning

Salisbury大学(MD, USA)による、データセンターを利用したリカバリプラン。計画をたてるだけではなく、あらゆる事象を想定して実際にテストを行うことで、計画の実効性、安心を得られる。

Five Reasons Why DR Plans Fail

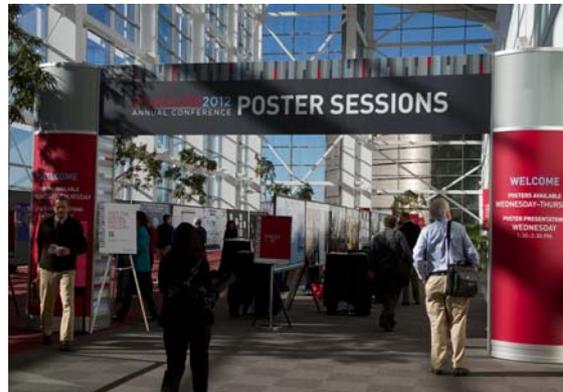
- Lack of testing
- Plans out of date
- Procedures not detailed
- Required information not consolidated
- Lack of organizational readiness

2. Women in technology

米国においても、技術系女子は少数派。技術系女子学生のキャリアアップに関する、いくつかの大学における実践例、NCWIT(National Center for Women & Information Technology)の取り組みを紹介。

(全体を通じた感想)

- ・人気のあるセッションは部屋にも入れないほどの盛況で、ドアの外から参加したセッションもあった。使用したプレゼンテーション資料などをConferenceホームページに掲載してあるのは重宝する。
- ・教育実践では、メンタリングに関する話題、造形実習用の3Dプリンタの紹介、ユニバーサル環境などもあり多岐にわたる。
- ・内容をプログラムで確かめていくが、単なる商品のプロモーションのようなセッションもあった。
- ・タブレット(iPadがほとんど)スマートフォン対応のLMSに関する発表も多数。



Poster Sessions

・ IT部門に女性が少ないのは共通の話題。高等教育関係の学会なので女性の数が多いという印象だったが、インフラ系のセッションに行くとも男性がほとんどを占める。Women in technology で、ITの分野でも女性の活躍している分野はたくさんあるとのコメントもあり、これらの分野への女性の進出を期待したい。

参加者：有働 雄二

電子書籍、e-Learning、教育支援ツール関連の系12セッションに参加。
企業展示ではSNS関連を中心に情報を収集した。

(Pick up)

1. Beyond E-Books: Right-Sized Mobile Content for Learning Anywhere
2. A 10-Second Response: Integrating Your Campus Emergency Communications System
3. A Breakthrough in Online Learning
4. Teaching in an Age of Plenty
5. Elevate Your Game: Propose, Design, and Deliver a Fantastic Conference Session
6. Discovery in a Digital World

(全体を通じての感想)

- ・ 相互の連携、情報共有に積極的な参加者が多かった。
- ・ いずれのセッションも資金と人材不足が問題とはしていたが、整備された無線LAN環境とIP電話、iPad等のモバイルデバイスのBYOD (Bring your own device) により、いつも繋がっているという前提でシステムを構築できることがうらやましく思った。
- ・ 教員へのサポートとして、ポータルサイトからASPを利用することにより、視覚的、動的に数式や化学式等を解説する仕組みは、教育の効率化のみならず、教材作成等事前準備の省力化のモデルとして、今後日本へも導入されるべきだと感じた。

(おすすめサイト)

<http://www.wolframalpha.com/> 数学、化学、物理等のシミュレーション

<http://periodictable.com/> 元素周期表のサイト、iPad アプリでも有名

<http://graysci.com/index.html> ちょっと危ない化学実験サイト

<http://prezi.com/ppxscvofjjtz/steps-to-a-fantastic-presentation/> 魅力的なプレゼン方法



Welcome Banner

4. 2013 年年次大会概要

場 所：カリフォルニア州アナハイム

期 間：2013年10月15日～18日



Concurrent Session